



日本防災士会福井県支部

# 福井県防災士会会報

第20号

2015.12.30

## 「原子力防災」の1年

現在、防災士は全国で約10万人。福井県内には、その100分の1にあたる約1000人が登録している。防災士を養成するための研修は県内各地でこれまで実施されてきたが、年1回程度であった。これに対し、平成27年度は特筆すべき年となる。福井県が主催する防災士研修だけでも3回（延べ500人を対象）、これに継続実施している「鯖江市防災士養成講座」を合わせれば、今年度だけで新たに約600名が防災士となる可能性が出てきた。

防災士は、「持っているだけで仕事になる」性質の資格ではない。行動に移してこそ、その効果を発揮する。いわば、行動するに際しての身分証明書のようなものだ。緊急地震速報が流れたら、どう行動すべきかは皆が理解している。一方で、実際に行動“できる”人は少ないのが現状だ。

我々防災士は、数が多ければ良いというものではない。何事もそうであるが、きちんとした質を担保するためには、継続学習が欠かせない。殊に、防災は“進化”する。地震時に火を消すことが“過去の正解”であったように。事実、防災士教本（31講）では「原子力防災」の講を（現段階では）構成できていない。当然のごとく、福井県では対応しなければならない重要課題である。福井県防災士会は今年度「原子力防災」に着目した研修、シンポジウム、展示等を実施してきた。加えて、理事会では「当分野に関するコンセンサス（仮称）」として、当該知見等を整理している状況である。

原子力防災こそ、継続学習が欠かせない分野ともいえる。新たに防災士となる方々も原子力防災は避けて通れないはず。そのとき頼られる存在であるために、継続的に学習し、行動できる人であるよう努めたい。



▲「鯖江市防災士養成講座」の様子  
（講師は福井県防災士会 岡本拓夫顧問）

## 福井ぼうさいの仲間 #19

**氏名** 岡本拓夫（おかもと たくお）  
**職業・勤務先** 福井高専 一般科目教室（物理）教授，座右の銘「不射の射」

### 防災士になるきっかけは？

地震の発生について研究し、福井県防災士会の顧問をしています。今回、上手くいけば4つめの士「教育学士、理学修士、博士（工学）、防災士」になれそうです（バラバラですが）。やっと、「足の裏のご飯粒」から解放されそうな感じです。鯖江市の養成講座（会場は、福井高専）の時には前で喋ったりしながら、受験をしました。

### 防災士になって、良かったと思うことは？

まだなっていませんが、今まで、研究者としてみなさまに育てて頂いた（親父を早く亡くしたので奨学金等で）関係から、ぜひ、みなさまのお役にたきたい（恩返し）という思いが強く、スキルの一つとして利用したいと考えています。

### 防災士として取り組んでみたいことは？

地震学の情報を取り入れながら、防災士としても活動するつもりです。

### 防災士以外であなたの「得意なこと」や「日頃がんばっていること」は？

尾池先生（元京大総長）よりの命題、「福井の地震は岡本に聴け、と言われるようになりなさい」（部屋に飾ってある）。西田先生（鳥大名誉教授）よりの命題、「福井の地震のホームドクターになりなさい」（学位授与式にて）。故渡辺先生（元京大、お師匠さん）よりの命題、「年に1本は、学校の報告書（年報や紀要）を書きなさい」を肝に銘じて、日々、頑張っています。趣味はhornの吹奏で（中学校より）、今も学生と一緒に、時々、ステージに立っています。

## 学校防災シンポジウム —原子力防災への対応—

平成 27 年 8 月 30 日、北陸地域において取り組みがなされている原子力防災を含めた「学校防災」に対する合意形成と今後の目標の設定をねらいとしたシンポジウムが開催された。なお、本事業は日本防災士会北信越連絡協議会が主催（主管：福井県防災士会）し、福井県教育委員会の後援を受けて実施されたものである。

第一部では、福井県防災士会、福井地方気象台、石川県支部より基調講演（事例紹介）があった。第二部では、基調講演の講師に各支部支部長らも加わり、福井県防災士会江本理事進行によるパネルディスカッション

が行われた。シンポジウム後には同会場において意見交換会が行われ、一人ひとり防災に対する熱い想いが伝えられた。

参加者のアンケートには、他県の事情や姿勢を知って参考になったとの意見が寄せられた。



▲第二部(パネルディスカッション)の様子

## 非常食コンテスト 今年も学校と地域が協働

恒例となっている福井高専学校祭(高専祭)での防災イベント。平成 27 年度は 10 月 17 日(土)早朝より、非常食を競う「克災グルメコンテスト」とマッチやライターなしで火をつける「火おこしコンテスト」が開催された。鯖江市、越前市の各地域に加え、高専の学生のみならず高校生も参加した。



▲審査の様子(左から松田福井高専校長、西野越前市理事、黒川福井県防災士会会長、東井鯖江市危機管理官、飛田福井市危機管理対策監)



▲「火おこしコンテスト」で苦戦する学生

## 今後の予定

学校防災アドバイザー派遣事業を除く。

- (1) 2 月 19 日(金) 福井県防災士会理事会(旭公民館)
- (2) 3 月 21 日(月, 振替休日) 日本防災士会スキルアップセミナー(金沢開催)
- (3) 6 月 11 日(土) 福井県防災士会総会(坂井市での開催を予定)

## 編集後記

11 月、12 月と福井県主催で、防災士養成講座が 3 会場で実施され、たくさんの方が防災士の仲間入りをされました。おめでとうございます。私の回りにも何人もの人が受講し、合格の喜びの声を聞きました。防災士の輪がどんどん大きくなっていきます。私たちも負けずに頑張らしましょう！(下畑)

◇福井県内の会員数◇  
 (2015 年 11 月末日現在)  
 福井県防災士会員 089 名  
 (特別会員等を除く)  
 日本防災士会員(県内) 068 名  
 防災士(県内) 968 名  
 防災士(全国) 100,737 名

編集担当 福井県防災士会 広報・啓発担当  
 住 所 〒916-8507 福井県鯖江市下司町  
 福井高専環境都市工学科内  
 E メール bousaisi@fukui-nct.ac.jp  
 Web サイト http://toshichan.be.fukui-nct.ac.jp/bousaisi/